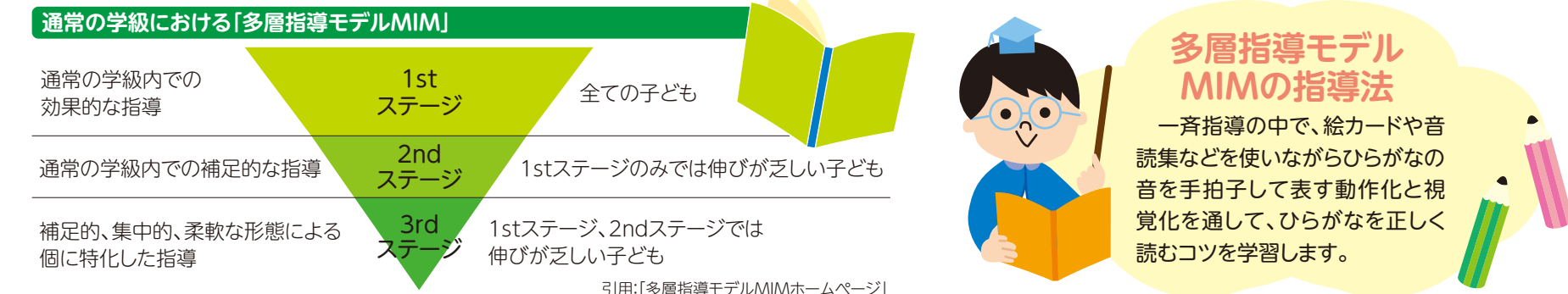


ひらがなの読みの「多層指導モデルMIM」を活用した取り組み

鳥取県では、読みの困難さを早期発見し、学習面のつまずきを軽減するために、「多層指導モデルMIM」を活用した取り組みを進めています。



多層指導モデルMIMの指導法

一斉指導の中で、絵カードや音読集などを使いながらひらがなの音を手拍子して表す動作化と視覚化を通して、ひらがなを正しく読むコツを学習します。

実践紹介

倉吉市における、ひらがな指導の取り組み

倉吉市では平成27年度から、すべての児童が「楽しく・流暢に読めるようになる」ことを目指し、市内全小学校1年生児童を対象に「多層指導モデルMIM」を活用したひらがな指導に取り組んでいます。「読むことが好きな児童が増えた。」「ひらがなの読みが定着した。」など着実な成果が上がっています。

「読み」は全ての学力の基礎

文字が読める
↓
書かれている単語が分かる
↓
書かれている文章が分かる

くらすくくんプリント

カードを使って多様な学習

教室で 全員一緒に 拗音指導

鳥取県では、このような成果を全県に発信するとともに、県内全小学校への「多層指導モデルMIM」パッケージの配備を進めていきます。

問合せ先 県教育委員会特別支援教育課 電話 0857(26)7598 FAX0857(26)8101

鳥取県特別支援学校就労促進セミナー

私たちは働く力と意欲があります!

県内特別支援学校の児童生徒の様子を企業や事業所に幅広く発信し、参加者全員が障がい者の就労促進について、ともに考える機会として、鳥取県特別支援学校就労促進セミナーを県内3圏域で開催しています。それぞれの地域の特色を生かし、学校公開、生徒・企業の意見発表、作業学習の体験や製品販売等を行っています。

6月6日(火)に中部地区、7月12日(水)に東部地区で開催され、企業からの参加者158名(118社)を含め、併せて240名の参加がありました。

今後の予定 西部地区就労促進セミナー **日時** 9月12日(火) **会場** 県立米子養護学校

参加者の声

事務オフィスコースの授業に参加しましたが、ポイントを押さえた作業をされていました。企業側からみても基本を押さえてあると安心すると感じました。作業の体験では、生徒さんに丁寧にやさしく一生懸命に教えてもらいました。就職活動を応援しています。(企業)

現在、障がいのある方の雇用はしておらず実習も受けていませんが、今日の生徒さんの様子を見て、当社としても前向きに考えたいと思いました。体験した授業では、生徒さんがわかりやすく自分の言葉で説明してくれました。説明ができるということは、学んでいることをきちんと自分のものになっているからで、すばらしいと思いました。(企業)

就労促進セミナーに参加して他校の生徒の意見発表や体験の発表を聞きました。高等部卒業後、自分に合った仕事に就職できるように力をつけていきたいです。生徒発表の進行では、大勢の人前で話をするのは難しかったですが、友だちと一緒に最後まで務めることができ、自信になりました。(高等部生徒)

問合せ先 県教育委員会特別支援教育課 電話 0857(26)7575 FAX0857(26)8101

鳥取県教育支援センター「ハートフルスペース」

「ハートフルスペース」は、義務教育終了後の不登校(傾向)やひきこもりの心配がある青少年を支援する教育支援センターです。東部にあるハートフルスペースに加え、今年度、中・西部地区にも新設しました。いろいろな活動(体験活動、学習支援など)を提供し、相談者をサポートするとともに、訪問相談やカウンセリング、進路支援などを行います。

電話相談
各ハートフルスペース
東部: 0857-28-2322
中部: 080-2928-7423
西部: 080-2928-7425

月～金 9:00～15:00
(年末年始・土日祝日を除く)
※15:00～17:00は、下の番号におかけください。
0857-28-2322
教育相談担当(東部ハートフルスペース)

20歳くらいまでの青少年対象

不登校・ひきこもりで悩んでいる
学校復帰をめざしてサポートしてほしい
学校復帰や社会参加するまでの
居場所がほしい…
まずは、話を聞かせてください

東部ハートフルスペース
※平成22年度開設
(鳥取県教育センター内)
住所:鳥取市湖山町北5丁目201
電話:0857-28-2322
(支援スタッフ)
指導員2名、カウンセラー1名、ソーシャルワーカー1名

新設 中部ハートフルスペース
住所:倉吉市上井503-1
電話:080-2928-7423
chubu@hatofuru-tottori.jp
(支援スタッフ)
支援員1名、指導員1名

新設 西部ハートフルスペース
住所:米子市祇園町2丁目242-88
電話:080-2928-7425
seibu@hatofuru-tottori.jp
(支援スタッフ)
支援員1名、指導員2名

東部のカウンセラー、ソーシャルワーカーが、中・西部の相談にも対応します。
中・西部地区の施設は10月から改修工事の予定ですが、相談はお受けしています。
詳しくは、<http://www.pref.tottori.lg.jp/217976.htm>をご覧ください。

問合せ先 県教育委員会いじめ・不登校総合対策センター
電話 0857(28)2322 FAX0857(31)3958

がんの教育 始まります

学校におけるがん教育

近年の都市化、少子高齢化、情報化、国際化などによる社会環境や生活環境の急激な変化は、国民の心身の健康にも大きな影響を与えています。その中で、生涯のうち国民の2人に1人がかかるかと推察されているがんは重要な課題の一つであり、国民の基礎的教養として身に付けておくべきものとなりつつあります。そのような状況を踏まえ、国は平成29年度よりがん教育を全国展開していく方向で動いており、鳥取県としても県内の学校の指導の充実に向けた指導者向けの研修会や授業公開などを実施しています。

がん教育の目標

- (1)がんについて正しく理解することができるようにする。
- (2)健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。

県内の学校での実施について(紹介)

学校の時間数も限られているため、喫煙や飲酒防止の教育と絡めて実施する方法や「出張がん予防教室」(鳥取県福祉保健部事業)を活用し、医師の派遣や啓発資料を活用した方法で授業の充実を図る学校もあります。

鳥取市立南中学校の取組

がん教育の具体的な内容(一例)

- がんとは(がんの要因等)**
がんは、体の中で異常細胞が際限なく増えてしまう病気です。がんになる原因は、はっきりしていないものもあります。
- 我が国のがんの状況**
生涯のうちにがんにかかる可能性は、2人に1人とされていますが、人口に占める高齢者の割合が増加してきていることもあり、年々増えています。
- がんの予防**
がんにかかる危険性を減らすための工夫は、
★ たばこを吸わない
★ 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
★ バランスのとれた食事をする
★ 適度な運動をする ★ 定期的に健康診断を受ける
- がんの早期発見・がん検診**
がんは症状が出にくい病気なので、早期に発見するためには症状がなくてもがん検診を定期的に受けることが大切です。
- がん患者への理解と共生**

問合せ先 県教育委員会体育保健課 電話 0857(26)7527 FAX0857(26)7542

高校 土曜授業等実施事業

平成29年度は倉吉東高校を重点校とし、鳥取東高校、鳥取工業高校、鳥取湖陵高校、八頭高校、智頭農林高校、倉吉総合産業高校、米子東高校、米子西高校、米子高校、米子工業高校、境港総合技術高校、日野高校の12校をモデル校として、学校・地域が連携・協力した様々な学習や体験活動を実施しているところです。

活動成果

- 住んでいる地域について知らないことがあり、抱える課題や取組を知ることができ視野が広がりました。
- 実際に現地に出かけて話を聞くことで、学校の中では得られない経験を積むことができました。
- 県内の自然や文化に触れることから、地域を再発見することができ、ふるさとの良さを再認識できました。
- 接客を通して地域の方と会話をすることにより、コミュニケーションを積極的に行う大切さを感じました。
- イベントにおいて地域と一体となって活動することにより、地域の担い手となる意欲や自覚が向上しました。
- 大学の授業内容等についてイメージをもつことができました。
- 卒業した先輩から学習方法を指導していただき、自信と達成感を得ることができました。
- 中学生と共同制作する体験により、共に充実した時間を過ごし、同じ目標を達成する喜びを感じることができました。
- 実際に仕事をされている方の言葉から、仕事に対する情熱や意気込みを感じることができ、大変刺激を受けた。

日野高校(日野高ショップ)

米子西高校(地域学習ペイセイよなご塾)

問合せ先 県教育委員会高等学校課 電話 0857(26)7916 FAX0857(26)0408

9月12日「とっとり県民の日」の学校給食は、県内統一メニュー

「あごがギョウ〜っとドライカレー」が登場します!

食を通してふるさとを大切にすることを育むことを目的に、学校給食における地産地消の推進に取り組んでいます。毎年「とっとり県民の日」には、地場産物をふんだんに使用した献立を実施しており、今年度は、鳥取県の特産品であるあご(トビウオ)や牛肉を使用した「あごがギョウ〜っとドライカレー」が登場します。また、給食を教材とした食育の取組が、各学校で行われる予定です。

※「あごがギョウ〜っとドライカレー」レシピ
(体育保健課HP www.pref.tottori.lg.jp/taiikuhoken/)

「地産地消」という言葉を知っている児童生徒

小学校5年	45%
中学校2年	75%

食事と生活についてのアンケート
(H27鳥取県学校栄養士協議会)

問合せ先 県教育委員会体育保健課
電話 0857(26)7527 FAX0857(26)7542